

No.198

2023年
5月号

いなざわ 議会だより

TOPICS

- 令和5年度予算決まる 2
- 質疑・一般質問 5
- 3月定例会議決結果 11
- 政務活動費収支報告 12

稲沢市議会

検索



<http://www.city.inazawa.aichi.jp/gikai/index.html>

表紙：平和桜ネックレスにて（3月29日撮影）

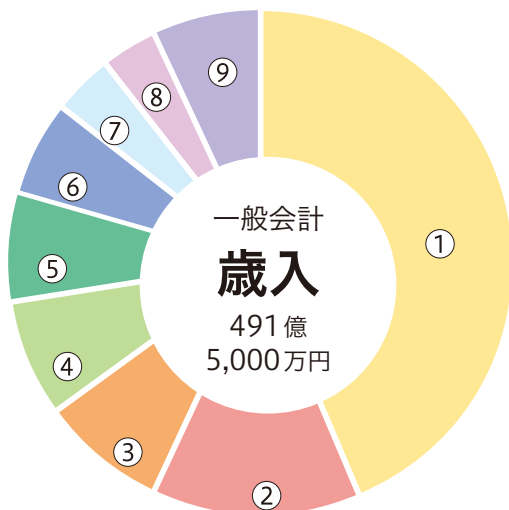
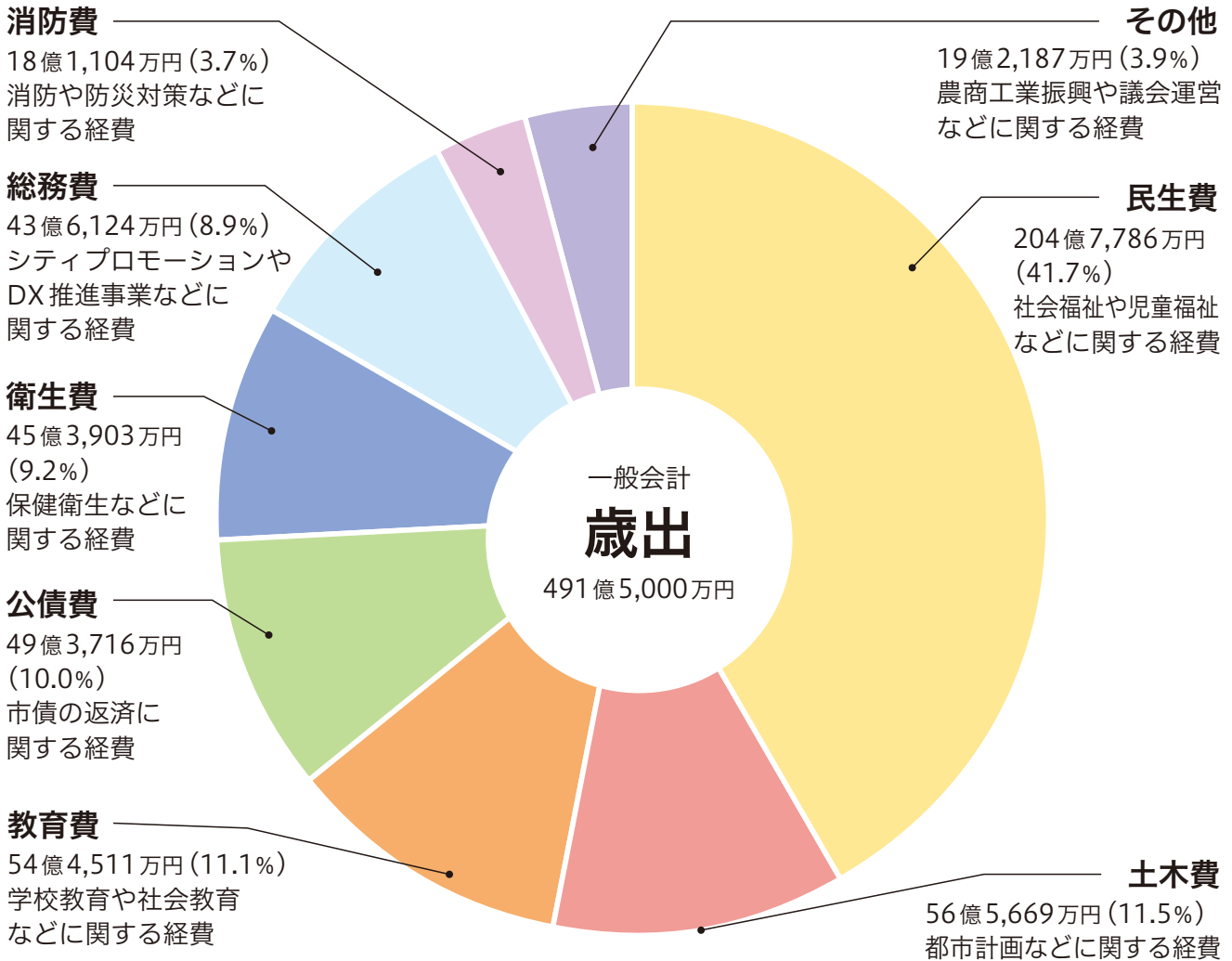
令和5年度予算決まる

3月6日から24日にかけて開かれた3月定例会で、令和5年度の予算案が示され、審議の結果、賛成多数で可決されました。

令和5年度予算のあらまし

前年度比

一般会計	491億5,000万円	5.0%↑
特別会計・企業会計	456億6,697万円	1.0%↓
令和5年度予算総額	948億1,697万円	2.0%↑



① 市税	214億7,700万円
② 国庫支出金	65億7,381万円
③ 地方交付税	39億円
④ 県支出金	37億1,943万円
⑤ 地方消費税交付金	34億円
⑥ 繰入金	31億585万円
⑦ 市債	18億8,360万円
⑧ 諸収入	17億8,319万円
⑨ その他	33億710万円

※万円未満切り捨て

令和5年度新規(拡充)事業

※百万円未満切り捨て

子ども医療費を助成

令和5年4月から子ども医療費助成を18歳になった年度末の通院まで拡大します。



7億1,600万円

小中学校を改修

配膳室の空調整備や校舎棟のトイレ洋式化事業、校舎長寿命化改修事業等を進めます。



2億4,300万円

生活困窮者の自立支援機能を強化

ひきこもり予防のための早期支援やLINEを活用した相談システムを導入します。



5,200万円

乳児へおむつ用品等を配布

保育園等に入園していない子ども(0～2歳)に対して、おむつ用品等の引換券を配布します。



4,400万円

ゼロカーボンを推進

ゼロカーボンシティの実現に向けて、電気自動車の配置やLED照明器具を導入します。



3,900万円

雨水出水浸水想定区域図を作成

市街化区域を対象とした浸水シミュレーションによるリスク評価及び区域図を作成します。



3,200万円

DXを推進

市民の利便性や行政サービスの向上のため、スマート窓口の推進やオンライン申請システムを導入します。

2,700万円

タブレット端末と電子会議システムを導入

効率的な議会運営など、議会・議員活動の活性化やペーパーレス化による事務の効率化を図ります。

600万円

令和4年度 一般会計補正予算(第10号)の主な歳出 ※万円未満切り捨て

小中学校の屋上防水や外壁、給排水設備等のライフラインを中心に施設長寿命化改修を行い、トイレ洋式化を進めるため、工事費を計上
…7億4,000万円



(仮称)井之口調理場整備事業として、工事費を計上
…4億1,967万円



おでかけタクシーの利用者数が当初の見込みより増加したため、委託料を計上
…360万円



同意案

次の方々の推薦、選任に同意しました。

○公平委員会委員

森 清次 氏 (日下部北町・再任)

○固定資産評価審査委員会委員

服部 憲政 氏 (一色下方町・新任)

伊藤 清茂 氏 (祖父江町甲新田・再任)

山田 雅明 氏 (平和町西光坊・再任)

議員研修会を開催

2月27日に愛知県弁護士会若手活動部を講師に招き、「議員活動における法律の落とし穴」をテーマに議員研修会を開催しました。

今後とも法令を遵守し、議員活動を行ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



表彰

愛知県市議会議長会定期総会において、服部猛前議長、東野靖道前副議長に感謝状が贈呈されました。



服部猛 前議長



東野靖道 前副議長

また、東海市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

〈議員15年表彰〉



六鹿順二 議員



木村喜信 議員



網倉信太郎 議員



市政を問う 一般質問

一般質問とは、議案とは関係なく、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、11人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

11 議員が登壇

- | | |
|-----------|-----------|
| ・平床健一 議員 | ・朽本敏子 議員 |
| ・富田和音 議員 | ・岡野次男 議員 |
| ・網倉信太郎 議員 | ・加藤孝秋 議員 |
| ・星野俊次 議員 | ・曾我部博隆 議員 |
| ・北村太郎 議員 | ・大津丈敏 議員 |
| ・杉山太希 議員 | |
- ※発言順



小中学校への無線機の 配備・活用と平時・緊急 時の活用について

平床 健一 議員



Q 避難所となり得る小中学校に「特定小電力無線機」が配備されれば、平時は各教室と職員室との間での学校防犯での活用や各種行事での活用ができ、災害発生時には避難所に無線機運用を移管して使用することが出来ると考える。3月1日に埼玉県で事件が起きたが、小中学校の校内における、安全対策に対する教育長の見解は。

A 学校における安全対策としては、平成13年に発生した大阪教育大学附属池田小学校での痛ましい事件などを受けて、危機管理マニュアルの作成が各学校に義務付けられる

など見直しが進められている。本市でもこのマニュアルに基づいて、児童生徒在校中は門扉を閉じることや、教職員による不審者対応の訓練を実施することなどで、安全対策の強化を図っている。ハード面でも、令和2年度には市内の全小中学校に、不審者対策を目的とした防犯カメラを設置した。こうした取り組みに加え、御提案の無線機器などの通信機器により、平時においては防犯対策として、また、児童生徒の急な体調不良時の連絡等に活用し、緊急時には避難所における通信手段として活用することは、安全対策としても防災対策としても有効な手段の一つであると考えます。





サーキュラーエコノミー (循環型経済) に向けて

市民クラブ
富田 和音 議員



- Q** スーパーなどから提供された食品をフードバンクに集めるための輸送費や保管費用を支援し、そこから生活困窮者やこども食堂に食品・食材を提供する仕組みを稲沢モデルとして市独自で構築できないか。
- A** 当市のフードドライブについては、リデュース・リユースの促進を主な目的とし、資源対策課主管で取り組んでいる。まずは社会福祉協議会との連携を含め、フードロスの解消に向けて取り組みたいと考えている。

Q 家庭等で廃棄される使用済み食用油(廃食油)の回収率はどれくらいか。

A 当市の家庭系廃食油の年間発生量は108トンで、回収率は5.1%である。

Q 航空機の燃料を廃食油から精製する技術が開発され、世界中で需要が高まっている。これまでゴミとして捨てていた家庭がかなりあることも事実で、回収は限定的である。環境も考え、すべての地域で回収することはできないか。

A 分別収集を行っている311行政区の内、廃食油の回収は14行政区にとどまっている。使用済み天ぷら油等は貴重な資源なので、ゴミではなく、リサイクルに回していただけるよう強く働きかけ、リサイクル率向上にもつなげたい。



長期休職者について

創生会
網倉 信太郎 議員



- Q** 「心の不調」で休職している職員はいるか。
- A** 病院職員を除き、令和4年度のメンタル不全による休職者は9名である。
- Q** ハラスメントが要因で休職している職員はいるか。また、もしハラスメントがあった場合はどう対応するか。
- A** 現在、休職者のうち、職場や窓口対応時のハラスメントを理由とする者はいない。各種ハラスメントの相談については、所属長が最初の相談先になることもあるが、人事課に相談窓口を設置している。相談があっ

た場合には、本人への聞き取り、相手方や必要に応じて職場の同僚などの第三者からも聞き取りを行うなど、迅速に事実確認を行い、確認した事実に基づき、措置や対策を講じることとしている。

また、職員が担当する行政サービスの利用者等からの言動で、所属の業務範囲や程度を明らかに超える要求をするようなものがあつた場合についても、組織として対応し、その内容に応じて、迅速かつ適切に職員の救済を図ることとしている。加えて、不当要求行為等の対策及び助言のための保安指導員を財政課に配置し、職員個人に負担が掛かることがないよう体制を整えている。





稲沢市の人口減少と駅 周辺の機能強化について

市民クラブ
星野 俊次 議員



Q 本市の自然減、社会減に対する分析の見解は。

A 平成27年国勢調査を基にした将来推計人口において、本市の令和2年人口は13万6,125人と推計されていたが、令和2年国勢調査では13万4,751人と推計を下回っている。コロナ禍の影響を受け、出生数減少で自然減は拡大し、社会減についても、JR稲沢駅東側の開発に伴う人口定着が一段落し、その後の住居系市街地拡大が進んでいないため、大きな社会増が見込めていない。

Q 名鉄国府宮駅周辺及びJR稲沢駅周辺の機能強化をどのように考えているか。

A 名鉄国府宮駅周辺の再整備と高御堂南やJR稲沢駅周辺の国府町・下町地区など新たな住居系市街地の形成に向けた取り組みなど定住施策を最優先に粘り強く推進していく。

Q JR稲沢駅の無人化について市の見解は。

A 令和6年の冬から「お客様サポートサービス」導入駅とし、「サポート付き指定席券売機」が設置され、遠隔システムでの対応となる。現状の提供サービスは駅運営体制変更後も利用可能で、1人の現地出勤係員が駐在され、現地対応が必要な場合、即座に構内に出向く体制だが、運営体制変更後も利用しやすい駅となるように要請している。



頻発している犯罪への 対応について

創生会
北村 太郎 議員



Q 振り込め詐欺などの特殊詐欺等の現状、対策は。

A 市内の特殊詐欺は7件で、前年よりも13件減少し、被害総額は1,854万円。被害防止対策は、令和4年度から65歳以上の世帯等を対象に、特殊詐欺対策装置購入費の一部補助を開始した。補助金額は、対象機器購入費の2分の1、上限5千円で、2月末時点での申請件数は70件、交付額は334,700円であった。今後は、稲沢警察署と情報共有を図りながら更なる啓発活動の推進に努める。

Q 集団強盗事件など凶悪な犯罪が大きな話題となっているが本市の啓発、対策は。

A 普段から在宅でも鍵を掛ける、来客対応を慎重に行うなどといった個別にできる対策を徹底していただくよう啓発に努めていく。また、防犯ボランティア団体等の活動の活性化、定着化など、自主的な防犯活動が持続するよう、稲沢警察署や、地元の防犯関連団体の方々と共に推進していく。

Q 地域における防犯パトロールの活動の効果は。

A 住民が自主的に行う防犯パトロールは、自らの防犯意識を高めるのみでなく、住民同士の連帯感が得られ、安全・安心な暮らしに大きく影響するため、犯罪抑止効果は非常に高いと考える。





清水・生出地区における 企業誘致について

創生会
杉山 太希 議員



Q 清水・生出地区は都市計画マスタープランを見ると、大きな面積の街区で示されている。この地区を平和工業団地のように一体的な工業地として活用できれば市に好影響をもたらすと考える。この地区における企業誘致の手法をどのように考えているか。

A 「都市計画マスタープラン」の位置付けにより、地区計画による手法が可能。「稲沢市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例」により開発することができる。開発手法を限定せず、事業者からの相談に合わせて企業誘致を推進していきたい。

Q 当該地区における土地利用の相談が事業者からあったと聞いており、一定の需要はあると思う。都市計画マスタープランの策定から3年経つが成果が出ていない。その要因は。

A 当該地区は市街化調整区域のため、都市計画法に基づく許可が必要になる。また、農用地区域であれば、農振除外と農地転用の許可も必要となり、それぞれの法律に基づく許可要件に合致することが必要となる。これらの許可等の基準を全てクリアすることが容易ではないことが要因だと考える。また、社会経済情勢やコロナ禍による影響など、立地を予定する企業側の事情も考えられる。



青い部分が該当地区



物価高騰対策について

公明党稲沢市議団
朽本 敏子 議員



Q 物価高騰から市民の生活を守るために、交付金を活用して市がこれまでに行った対策は。

A 子育て世帯臨時特別給付事業（市単独）、保育園等給食費（副食代）無償化事業、保育園等紙おむつ提供事業、肥料価格高騰対策支援金事業、学校給食費支援事業、水道料金準備料金補助事業を実施した。

Q 今後はどのような対策を行うのか。

A 令和5年度当初予算では、子育て世帯を支援するため、令和4年度に引き続き、紙おむつ提供事業や学校給食費支援事業を実施

し、乳児おむつ用品等配布事業を新たに実施する。また、高校生世代まで通院医療費の助成対象を拡大する。今後も、社会情勢や国の支援措置を注視しつつ、対策を検討していく。

Q 企業の賃上げを支援するための各種支援策の紹介や事業者への相談体制等は、どうなっているか。

A 市担当課や商工会議所・商工会において「スタートアップいなざわ」で、主な施策について説明するなど、広く中小企業支援の相談に対応している。また、チラシを用意し、他の支援例と併せ賃上げ支援の相談を受けることができる旨を周知するように努めていく。





認知症を学び地域で支える取り組み

市民クラブ
岡野 次男 議員



Q 二次元コードが印刷されたシールを認知症の方の衣類等に貼り付け、発見者がスマホで二次元コードを読み取ると、介護者へ通知メールが発信される「どこシル伝言板」という仕組みがある。費用が安価で、近隣市町での導入事例もあるので、認知症の方の見守りを強化するために、本市でも導入できないか。

A 2023年度に新しいシールの導入を予定しているので、「どこシル伝言板」も含め、より良いシステムを導入したいと考えている。

Q 認知症サポーターの普及活動が市役所から市民に広がり、まち中に認知症サポーターの証であるオレンジリングを付けた方々が行き来するような社会を実現させたいと思う。市長が率先してオレンジリングを付けて宣伝し、トップダウンで普及を行っていただけないか。

A 誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を支える方法を知る、つまりは認知症サポーターとなっただくことで、地域全体が安心して暮らせるまちとなるよう願っている。私も来年度サポーター養成講座を受講し、イベントなどの際にはオレンジリングを付けて市民の皆様にPRしていく。



"オレンジリング"は認知症サポーターの目印です。



結婚活動支援事業について

公明党稲沢市議団
加藤 孝秋 議員



Q 本市の結婚活動支援事業の内容は。

A 出会いの場の確保や多角的な婚活事業の実現のため、平成29年度から結婚活動支援事業を開始した。

Q 直近3年間の合計の参加者数、カップリング数は。

A 男性53人、女性45人。カップリング数は16組。令和2・3年度はオンラインでの事業実施だが、令和4年度は対面で行い、定員を超える申し込みがあった。

Q 婚活事業に参加された方々の意見や感想は。

A アンケートの結果、「一人一人とゆっくり話げできた」、「異性との交流を深めることができた」、「企画・内容が楽しかった」等の項目が多く回答されていた。

Q 事業を実施してから、成婚に至ったケースはあるか。

A 平成29年度、平成30年度、令和元年度の参加者からそれぞれ1組ずつ成婚の報告があった。

Q 本市の婚活事業を魅力的なものとするための内容の工夫や改善方法は。

A 十分な周知期間の設定や、市広報やHP、SNSなどを有効活用する。事業内容も過去の実績や参加者の御意見を参考に安心して参加できるイベントを企画する。





小中学校の統廃合について

曾我部 博隆 議員



Q 本市は「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」において、学校の標準規模を示しているが、教育学的研究成果に基づいたものか。

A 具体的な研究成果に基づいたものではないが、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため議論を重ねたもの。

Q 教育学的に優れていると証明されていないものを基準にすることは問題である。学校再編や校区再編を整備する「学校施設整備基本計画」の策定をすすめているが、詳細は、

A 策定委員会を設置し、令和5年度末までに完成する予定。委員会の構成員は学識経験者や保護者代表、教職員の代表、市民公募委員などを考えている。委員会は原則公開し、パブリックコメントも行う予定。

Q 学校を統廃合すると、その地域の子育て世代は住みにくくなり、人口減少が進むと考えるが、統廃合により、まちが元気になった事例はあるのか。

A 瀬戸市は、小学校5校、中学校2校を統合し小中一貫校を開校した。児童生徒数の増加や異年齢による交流が増え、友達が増えて楽しいといった声が上がっている。また、視察も相次いでおり、シティプロモーションの役割も担っている。



ウィズコロナ時代の地域活動について

創生会
大津 丈敏 議員



Q 地域コミュニティにおける役員の高齢化、担い手不足が表面化し、衰退していく懸念がある中、本市の特徴的な組織はどのようなものがあるか。

A 支所・市民センター地区ごとに「まちづくり推進協議会」がある。地域ごとに異なるが、区長会、民生児童委員協議会、老人クラブ、婦人会、子ども会、体育振興会などがある。

Q まちづくり推進協議会を活性化することにより、地域コミュニティ全体の活性化にも繋がると思うが、活動状況は、コロナ禍に

よってどう変化したか。

A コロナ禍では、盆踊り大会などの夏祭りやコンサート、講演会などが中止となった。今年度においては、文化祭、ウォーキング大会等が開催され、多数の地域住民が来場された。

Q コロナ禍における各種制限があった中、イベントの企画等大変苦労されたと思うが、実施した事業にはどんなものがあるか。

A 密にならずに屋外で楽しめるイベントとして、千代田市民センター地区でひまわり畑を手掛けられ、新たな観光スポットとして脚光を浴びた。また、平和支所地区では平和まつりをYouTubeで視聴してもらう方法に変更し、無観客で開催された。



3 月 定 例 会 議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果	議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	稲沢市職員の降給に関する条例の制定について	全会一致可決	議案第20号	稲沢市民会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決
議案第2号	稲沢市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第21号	稲沢市美術館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第3号	稲沢市職員の給与に関する条例及び稲沢市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第22号	市民会館改修工事(中ホール天井落下防止対策)の請負契約の締結について	全会一致可決
議案第4号	稲沢市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第23号	令和5年度稲沢市一般会計予算	賛成多数可決
議案第5号	稲沢市行政改革推進委員会設置条例及び稲沢市総合計画審議会条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第24号	令和5年度稲沢市国民健康保険特別会計予算	賛成多数可決
議案第6号	稲沢市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第25号	令和5年度稲沢市介護保険特別会計予算	賛成多数可決
議案第7号	稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第26号	令和5年度稲沢市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数可決
議案第8号	稲沢市障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第27号	令和5年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計予算	全会一致可決
議案第9号	稲沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第28号	令和5年度稲沢市病院事業会計予算	全会一致可決
議案第10号	稲沢市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第29号	令和5年度稲沢市水道事業会計予算	全会一致可決
議案第11号	稲沢市立児童厚生施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第30号	令和5年度稲沢市公共下水道事業会計予算	全会一致可決
議案第12号	稲沢市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第31号	令和5年度稲沢市集落排水事業会計予算	全会一致可決
議案第13号	稲沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第32号	令和4年度稲沢市一般会計補正予算(第10号)	全会一致可決
議案第14号	稲沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第33号	令和4年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	全会一致可決
議案第15号	稲沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	議案第34号	令和4年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致可決
議案第16号	稲沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	報告第1号	専決処分の報告について	
議案第17号	稲沢市都市計画審議会条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	請願第1号	「選択的夫婦別姓制度の導入など、一日も早い民法改正を「求める意見書」を採択することを求める請願	賛成少数不採択
議案第18号	稲沢市都市公園条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	発議案第1号	稲沢市議会委員会条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第19号	稲沢市空家等対策協議会条例の一部を改正する条例について	全会一致可決	発議案第2号	稲沢市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について	全会一致可決

賛 否 が 分 か れ た 議 案 等

議案番号	創生会											市民クラブ						公明党 稲沢市 議団	会派に 属さない 議員							
	杉山太希	平野賀洋子	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	大津丈敏	東野靖道	吉川隆之	木村喜信	網倉信太郎	長屋宗正	服部 猛	出口勝実	六鹿順二	岡野次男	富田和音	志智 央	木全信明	星野俊次	加藤孝秋	朽本敏子	平床健一	曾我部博隆	
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

※ 出口勝実議員は議長のため採決には加わりません。

(○は賛成、●は反対)

令和4年度政務活動費収支報告

(単位:円)

	創生会	市民クラブ	公明党稲沢市議団	曾我部博隆	平床健一
交付額	3,840,000	1,200,000	480,000	240,000	240,000
利息	15	6	2		
調査研究費	2,530,066	207,634	247,501		
研修費	309,015	5,220		28,460	
広報費	1,000,934	374,294		80,110	
資料作成費					
資料購入費		77,095	50,930	9,930	33,550
合計	3,840,015	664,243	298,431	118,500	33,550
残額	0	535,763	181,571	121,500	206,450

※所属議員に対し、月額2万円を交付しています ※残額については、市へ返還しています

レイアウトのリニューアル

昭和48年の創刊以来、50年にわたり「右開き・縦書き」で発行してきた議会だよりですが、本号から「左開き・横書き」へとリニューアルを行いました。

今後も、皆様に「読まれ」「伝わる」議会だよりを目指してまいりますので、引き続きご愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



創刊号の議会だより

会議録と本会議の様子をご覧ください。

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、図書館や各市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

また、会議録と本会議の録画映像は、市のホームページからパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。

本会議の録画映像については、右記の二次元コードを読み取り、ご覧いただくこともできます。



次回の定例会は

6月9日(金)開会

質疑・一般質問

- ・6月15日(木)
- ・6月16日(金)
- ・6月19日(月)
- ・6月20日(火)(予備日)

常任委員会

- ・6月21日(水) 総務委員会
- ・6月22日(木) 文教厚生委員会
- ・6月23日(金) 経済建設委員会

閉会

- ・6月28日(水)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和5年8月発行予定です。

発行／稲沢市議会
編集／広報広聴委員会
〒492-8269 稲沢市稲府町1
TEL.0587-32-1459 / FAX.0587-32-1124